

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月31日
学校法人 調布学園
調布幼稚園

1. 本園の教育目標

生きる力をはぐくむ

・健康な体 ・豊かな心 ・人とのかかわる力 ・やり遂げる力 ・適応する力

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1) 教育課程に則り、教育目標の実現に向けて指導の重点と達成するための方法を明確にするとともに、教員の資質向上を図る。更に、法人内の連携を図ることで教員の資質向上にも繋げる。
- 2) 幼稚園教育要領に示されている就学前教育において育みたい資質・能力と「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を指導計画に位置付けて意識しながら実践する。
- 3) プログラミング活動では講師との連携を図り、教職員の理解を深め適切な声掛けや援助を探る。
- 4) 保護者にアンケートを実施し、教育内容などの満足度を図ったり、ニーズに合った在り方を探ったりする。
- 5) 園舎建替えに向けて説明会を開催するなど保護者や地域の方への理解を深める。
- 6) 令和8年度の創立100周年に向けて準備を始める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	・教育課程に則り、教育目標の実現に向けて指導の重点と達成するための方法を明確にする。 ・教員の資質向上を図る。 ・法人内の連携を図ることで教員の資質向上にも繋げる。	B	・教育目標を実現するための指導の重点と達成するための方法を教育課程で示し、全教職員で読み合わせを行った。 ・教員の資質向上としては、園内研究部を中堅の教員に任せ、研究の進め方や取り組み方を指導しながら進めた。研究内容はソニー教育財団主催の「ソニー教育支援プログラム」に提出し、奨励園賞を受賞することができた。 更に、休業中を利用して外部研修やオンライン研修には積極的に参加した。 ・法人内部の連携として、プログラミング教育に関しては交流する時間を設けられたが、他部門へ訪問しての研修は園内の行事と時期が合わず、昨年ほどは実践できなかった。その為、総合評価はBとした。

2	幼稚園教育要領に示されている就学前教育において育みたい資質・能力と「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を指導計画に位置付けて意識しながら実践する。	A	平成29年に改定した指導計画を全学年、期毎に見直した。学年毎に見直した後には、全教職員で話し合い、現在の活動や幼児の実態に見合った内容に全ての期を改定した。また、園長は教育計画が週案などに生かされているか目を通し、必要に応じて指導を行った。
3	プログラミング活動では講師との連携を図り、教職員の理解を深め適切な声掛けや援助を探る。	B	プログラミング教育を始めて3年目を迎えた。講師が作成したカリキュラムを整え、園としてのプログラミング活動に対する「ねらい」や園側が援助する方法、教員がプログラミング活動への理解を深めるための機会を設けた。引き続き、教員の理解を深め援助の方法を探っていく。
4	保護者にアンケートを実施し、教育内容などの満足度を図ったり、ニーズに合った在り方を探ったりする。	B	4年ぶりに保護者アンケートを実施した。年少組の保護者に対しては7月に行い、入園後の満足度などを伺った。年中組と年長組は12月に行い、同様に満足度などについて回答を頂いた。 給食や預かり保育についてのニーズや建替えに関する心配事などについても回答を頂いているため、今後の教育活動に活かしていく。
5	園舎建替えに向けて説明会を開催するなど保護者や地域の方への理解を深める。	B	9月に在園児保護者及び近隣にお住まいの方を対象にした「建替え説明会」を開催した。保護者からは教育活動の進め方や騒音等についての質問が上がった。近隣の方からは工事後の幼稚園の活動での騒音対策を講じて欲しいなどの要望などもあった。 しかし、まだ心配や懸念事項がある方もいるため、今後は「建替え説明会」を開催するなど適宜、保護者や近隣への説明を行い理解を深めていく。
6	令和8年度の創立100周年に向けて準備を行う。	A	創立100周年プロジェクトを立ち上げ、園としての式典での企画検討や記念誌の編集、航空写真の撮影や園児への記念品制作などの検討を行った。

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 総合的な評価結果

評価	理由
B	今年度は、【園舎建替えの推進】【創立100周年に向けての準備】【入園募集に関する取り組みの工夫】など、課題も多かった。また、それぞれの活動に対して取り組み始めてはいても、現在進行形のことも多く、引き続き取り組んでいくことが多い。その為、1つ1つの成果は感じているが、総合評価としてはB(成果があった)とした。次年度も継続して取り組み、十分な成果に繋げたい。

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

6. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園舎建替えについて保護者や地域の方への理解を深める。	前年度の活動に捕らわれず、幼児の実態に合わせた取り組みの計画、実施を行う。
2	入園募集に関する取り組みの工夫	幼稚園の教育内容をしっかりとアピールし、幼稚園で教育を受けるメリットが保護者に伝わるように取り組んでいく。また、仕事をしている方でも通える幼稚園であることを知って頂く努力を継続する。
3	創立100周年関連	調布学園とも連携を図り、園児、保護者、教職員、地域の方にとっても心に残る100周年イヤーとなるようにしていく。

7. 学校関係者評価委員会の評価

○建替えについて聞かれることがある。どこまで発信してよいのか疑問である。

【園より】保護者の方が知っている情報はお伝え頂いて構わないが、困った時には幼稚園に問合せ頂くようにお伝えください。

○プログラミングについては「楽しい」と話している。2人組で活動を行っていると聞いたが、以前に比べると友達のことを気にする話を聞くことが増えた。活動による成長なのではないかと思った。

○入園募集について

➤入園前に近隣の情報誌に調布幼稚園の記載が無かったり、更新されていなかったり、口コミサイトへの投稿が少なかった。幼稚園を探す時には、幼稚園情報サイトやグーグルマップを活用していた。

【園より】幼稚園が世田谷区にあるため、大田区の情報誌には掲載されていないことがある。

➤満3歳児クラスがあれば経験させたかった。手を離したいという気持ちと同年齢の友達と遊ばせたいという気持ちからプレスクールは母子分離で子どもを預けられる活動だと良い。

➤調布幼稚園の大きなアピールポイントは畑の存在だと思う。また、砂場で泥んこになって遊んでいる様子なども家庭では取り入れにくいので幼稚園でやってもらえるのは嬉しい。

➤Instagram には行事の写真が多いが、もっと日常の様子も知りたい。また、動画もあると良い。

【園より】動画は検討しているが、体操服の名前を消すことが上手くできず実現できていない。今後の課題であると思っている。